

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立百舌鳥小学校
校長 川口和義

中学校区におけるめざす子ども像

○自分の考えを伝え合い、学びを深め、その知識を活用することができる子 ○互いに認め合い 協力し合う子 ○自他の体を大切にし 健やかでたくましい子

令和7年度 重点目標

一人ひとりが未来の創り手となる豊かな学びの実現 ～深い学びの実現と自尊感情の醸成で、未来を切り拓くもずっ子を育てる～

(1) 「総合的な学力」の育成 (2) 友だちのよさを認め、自分を大切にする子の育成 (3) 体力の向上と健康的な生活習慣の確立 (4) 郷土百舌鳥を愛する子の育成

「確かな学び」の現状

去年度の研究授業では、ICTや資料の活用、話し合い、書くことなどを通して、児童の思いや考えを表現する力を育成してきた。教育アンケートの「授業中、自分の考えをペアやグループ・全体で伝えている」では、低学年で77.8%、高学年で78%の児童が肯定的に答えている。今年度も、重点目標「自分の思いや考えを表現する力の育成」に加えて、学年別の目標を設定する。系統立てた目標にすることで、より確実に重点目標の達成にせまられるのではないかと考える。

(低) 自分の考えをもつ。(中) 自分の考えを表現する様々な方法を知る。(高) 目的や意図に応じて方法を選び、伝える。

全国学力・学習状況調査において、(国語)「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」・「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」問題で、課題がみられる。目的や意図に応じて内容を検討したり、書き表し方を工夫したりしながら、自分の思いや考えを書く力もつけていきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

◇豊かな心◇

・学校教育アンケートの結果より、自己肯定感の評価は低学年の93.3%、高学年の85.3%が肯定評価をしている。

◇健やかな体◇

・学校教育アンケートの結果より、外遊びの肯定評価は低学年は84.5%、高学年は79.8%が肯定評価をしている。

どちらも昨年度より結果が向上している。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組, ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	総合的な学力の育成	学習規律(学習準備、姿勢、発言、聞き方など)を身につける。	普段の授業や活動において全員参加をめざし、百舌鳥スタンダード(根底)に全職員が取り組む。	「百舌鳥スタンダード(根底)に取り組んでいる」肯定評価90%以上 学校評価アンケート(教職員)	学校教育アンケート(教職員)	2学期			
		学習課題をつかみ、自分で考え、表現することができる。	学習課題を意識し、教材それぞれで何を教えるのかを明確にして授業を行う。 ●★自分の考えをペアや全体で伝える機会を確保する。	「課題意識」 肯定評価95%以上(教職員) 「自分の考えを伝える」 肯定評価75%以上(児童)	学校教育アンケート(教職員・児童)	2学期			
		自分の考えだけでなく、友だちの考え、新たな気づきをふり返ることができる。	自分の思考の過程を整理し、深めるための構造的なノートづくりを意識して授業を行う。	「自分の考えを書かせる」 肯定評価90%以上(教職員) 「ノートに自分の考えを書いている」 肯定評価80%以上(児童)	学校教育アンケート(教職員・児童)	2学期			
		学校での学習をふり返ったり、新たな課題を見つけたりする自主学習に取り組めるようにする。	自主学習ノートを全員が所持し、低・中・高学年ごとに取組例を示し、紹介や点検・評価を充実させる。	「進んで自学に取り組む」 肯定評価75%以上(児童)	学校教育アンケート(児童)	2学期			
		ICTを活用して、個別最適な学びをめざす。	1人1台端末を活用して情報活用能力を高める授業づくりを行う。	低学年:発表ノートで図や写真を入れて発表することができる 中学年:動画や写真を撮って発表ノートで伝えることができる 高学年:パワーポイントでスライドを作ることができる (肯定評価 80%以上)	学校教育アンケート(児童)	2学期 年度末			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	・教育活動の中で、豊かな人間性を育成する。	児童一人一人の自己肯定感や自尊感情を醸成し、自他ともに価値を尊重する意欲、態度を育てる。	児童アンケート自己肯定感評価 (肯定評価 85%以上)	学校教育アンケート(児童)	2学期			
		・いじめのない互いに寄り添い、理解しあう集団作りをめざす。 ・清掃活動を集中して行えるよう努力し、清潔な学校にする。	未然防止を目的とした生活アンケートは学期1回を基本として行い、情報収集し、共有する。 各教科と連携し、心の醸成に取り組む。 清掃活動に集中できるよう働きかける。 身の回りの整理整頓の啓発を行う。	保護者アンケート「学校が楽しい」 (肯定評価 90%以上) 児童アンケート清掃活動評価 (肯定評価 85%以上)	学校教育アンケート(保護者) 学校教育アンケート(児童)	2学期 2学期			
	健やかな体の育成	・年間安全計画に基づいた安全指導を行い、年間を通して健康で安全な生活をおくれるよう基本的な生活習慣をふり返る。 ・運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる。	生活調べを通して、自分の生活を見直す。 ・体力向上のための取り組み ・冬季期間心拍数を上げる運動を取り入れる ・体育指導の手引きに基づいた指導	児童アンケートによる肯定評価 (肯定評価 85%以上) 児童アンケート「体を動かしているか」 (肯定評価 80%以上)	学校教育アンケート(児童) 学校教育アンケート(児童)	各学期 2学期			
		・ホームページ更新や地域連携を通して「開かれた学校づくり」に取り組む。 ・中学校区での交流を通して、郷土百舌鳥を愛する児童を育成する。	学校ホームページ、校報等を活用し、学校教育活動の発信をすするとともに、地域行事への参加に努める。 中学校区での交流や合同研修を通して、情報交換 課題の共有 課題解決に向けての具体的な取組を行う。	学校ホームページの毎日更新。地域行事(百舌鳥八幡宮祭礼、陵南フェスタ、北区交流まつりなど)に参加する。 教職員アンケート (肯定評価 70%以上)	実践報告 学校教育アンケート(教職員)	毎月随時 2学期			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)